

外来担当予定表

<令和4年9月30日現在>

	月	火	水	木	金	土	
午前	1	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・ 甲状腺内科)	柿下 (糖尿病・ 甲状腺内科)	柿下 (糖尿病・ 甲状腺内科)
	2	松清(立) (腎臓内科)	関上 (循環器内科)	松本 (1・3週) (腎臓内科) 植木 (2・4週) (腎臓内科)	中村 (循環器内科)	松清(立) (腎臓内科)	岩前 (呼吸器内科)
	3						東大医師 交代制 (リウマチ科)
午後	1	松清(立) (腎臓内科)	中村 (循環器内科)	須藤 (泌尿器科)	岩前 (呼吸器内科) ※3時～4時	休診	休診

※ () は医師の専門科目であり、一般内科診療も行います。

※都合により、担当医師が変更となる場合があります。

※木曜日午後の診療時間は、午後3時～4時まで(受付：午後2時30分～3時30分)です。

※診療時間外の急患は、お電話にてご相談ください。



受付時間

<午前> 8時30分～11時30分
<午後> 月～水：1時30分～3時30分
木：2時30分～3時30分

診療時間

<午前> 9時～12時
<午後> 月～水：2時～4時 木：3時～4時

休診日

金曜午後、土曜午後、日曜、祝日、年末年始
(12/30～1/3)

地域医療連携室では、患者様の入院・転院・外来紹介他、
介護施設入所や各種制度についてのご相談もお受けしております。
どうぞお気軽にお問い合わせください。

医療法人社団
醫光会

おうら病院



けやき

おうら病院地域医療連携室だより
2022年 秋号

病院理念

やさしさに出会う医療を やすらぎに出会う医療を そして、生きがいに出会う医療を

基本方針

- 1.患者様の権利と意思を尊重し、合意と理解に基づく「患者様主体の医療」を行います
- 2.チーム医療を実践し良質かつ安全な医療を提供します
- 3.地域の医療機関・福祉施設と密な連携を図り、地域医療の発展に貢献します
- 4.職員一人一人が技術のさらなる習得に励み、最良の医療の提供を目指し、明るく豊かで思いやりのある病院づくりを行います
- 5.医療資源の適正利用と健全経営を遂行します

糖尿病腎症重症化予防始めます

群馬県でも2018年から糖尿病腎症の重症化予防が開始されました。全国では年に16,000人弱の糖尿病患者さんが新規に血液透析を導入されており、群馬県でも2019年に343名、2020年には283名の方が新たに糖尿病腎症から透析導入となっています。患者さん本人のQOLが低下してしまうのはもちろんですが、自治体にとっても高額な医療費負担が重荷となります。

当院には156名の透析患者さんがおりますが、そのうちの49%が糖尿病が原因なのです。透析になる患者さんを減らすことを目的に始まったのが重症化予防の取り組みです。健診やレセプトデータから糖尿病(HbA1c>6.5%)で蛋白尿(or 微量アルブミン尿)陽性の方を抽出し、腎保護のための指導を受けていただきます。最も大事なことは禁煙と減塩です。そして血圧をしっかりと管理することも大事で130/80以下が目標となります。もちろん血糖管理も重要で、HbA1c<7.0%(日本で行われた大規模試験であるJ-DOIT3ではA1c<6.5%が腎症の悪化抑制に関連)が目標となりますが、現在は腎保護的に働く薬剤(SGLT2阻害剤 GLP-1RA RAS阻害剤)がありますので、個々の患者さんに適した治療で重症化を予防できるものと考えております。血糖コントロールに難渋している患者さんや腎機能の低下(特に3期(顕性タンパク尿期)および4期(eGFR<30)の方)した患者さんがおりましたらご紹介いただけますと幸いです。なお、当院ではL-CDEを取得した医療従事者が5名誕生しました。糖尿病外来並びに病棟で糖尿病指導を担ってもらう予定です。

今後とも先生方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



病院長 秋山仁

糖尿病療養指導医

1 糖尿病療養指導医より

2 群馬県糖尿病指導士について

3 糖尿病教育入院・糖友会のご案内

4 外来担当予定表

発行：おうら病院 地域医療連携室 発行日11月吉日
所在地：〒370-0615 群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1
電話：0276-88-8611 (地域医療連携室 直通)
0276-88-5678 (代表)
FAX：0276-88-5992

群馬県糖尿病療養指導士とは

群馬県における糖尿病教育の正しい知識と技術の普及・啓発を図り、医師の指示の下で熟練した糖尿病療養指導を行うことのできるスタッフを養成、認定することを目的とし、群馬県糖尿病療養指導認定機構が定める基礎講習会を受講した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられます。

当院には看護師5名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名の群馬県糖尿病療養指導士が在籍しております。

糖尿病に関するご相談はおうら病院にお問い合わせください。

糖尿病療養指導士からひとこと

食事療法は、糖尿病治療の基本です。患者様個々の生活スタイルに合わせた食事指導を行い、血糖コントロールの改善に少しでもお役に立てるようこれからも精進していきます。
栄養管理士 神保さとみ

患者様やご家族を中心として、多職種と協働しながら多角的な視点から患者様を支援していきます。看護師として患者様に寄り添い、患者様の目標達成を支援します。
病棟看護師 遠藤沙也佳

糖尿病初期の患者様は自覚症状も乏しく治療継続ができない方が多く、糖尿病進行によるQOLが著しく低下した症例を目の当たりにしてきました。糖尿病療養指導士として自己研鑽を重ね、患者様が治療の重要性を理解し、治療が継続できるよう働きかけ、地域の患者様の健康推進に貢献していきたい。
外来看護師 麻生美恵

外来看護師として、医師から初めて糖尿病と診断され戸惑い、薬に対して抵抗を感じる患者様と多く接してきました。講習会で得た知識や技術を生かし、患者に寄り添い信頼関係を築くことで、外来で患者が相談しやすい場を提供し、支援の実践をしていきたい。
外来看護師 富山恵美

糖尿病療養指導の仲間を増やし、患者個別の療養上の問題を把握・共有し、実践的な指導支援を行うとともにチーム医療を円滑に進めていきます。
臨床検査技師 新井幸枝

基礎講習会で最も印象に残ったのは糖尿病の合併症と治療薬の副作用、食事・運動療法の重要性で、新たな知識を学ぶことが出来ました。講習会で得た知識や技術を活かし、患者様が「健康な人と変わらない人生」を送れるよう援助していきます。
病棟看護師 須永帆奈

基礎講習会では糖尿病についての病態生理や治療・検査について理解を深めることができました。高齢者等の特徴を踏まえ、チーム医療の一員として主体的にケアの実践や指導、相談を行っています。
病棟看護師 小島絢子



糖尿病教育入院

血糖コントロールを行いながら、糖尿病の正しい知識を持っていただくことで重症化することがなく治療を続けていけるよう支援します。患者様の状態にもよりますが、入院期間はおよそ7日から14日の予定です。

糖尿病教育入院を必要とされる方は、ぜひご相談ください。

指導内容

- 糖尿病の症状、合併症
- 運動療法、食事療法
- 低血糖時の対応、高血糖について
- 血糖測定器の使用法
- インスリン自己注射の指導

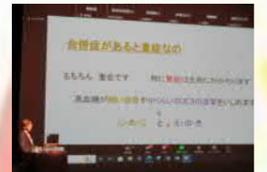
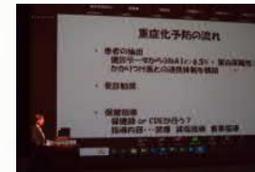


11月14日は
世界糖尿病デー



第36回群馬県糖尿病セミナー

～今を考え、明日に向かってはばたけ～



2022年9月23日に邑楽町中央公民館にて群馬県糖尿病セミナーが開催されました。当院の秋山院長も『糖尿病を重症化させないために』をテーマに、来場者80人、オンライン参加者600人を前に講演しました。最後は、参加者全員でリズムに乗り、歌って踊って楽しく体を動かすことで運動の大切さを感じながらすがすがしい気持ちでセミナーを終了しました。

おうら糖友会について

糖尿病の正しい知識の普及と向上、会員相互の親睦を図ることを目的として患者様、御家族、医療スタッフなど糖尿病の治療や予防に関心を持つ方が、活動する会です。

主な活動内容

- * 専門スタッフによる糖尿病の勉強会
- * 月刊誌「糖尿病ライフ「さかえ」」の配布
- * 日本糖尿病協会、群馬県糖尿病協会

年会費

《お申込み・お問い合わせ》

医療法人社団 醫光会おうら病院 総合サービス課 担当：田村

TEL 0276-88-5678

